単元２ 動物の生活と生物の進化

**４　動物のなかま**

【考えてみましょう・教科書を閉じたまま】

　考えられる限りの「動物」の名前を書きだしてみよう。そして、生活場所や体のつくりのちがいによって、自分なりに分類してみよう。コウモリとツバメは同じ仲間だろうか？　シャチとサメは？　オオサンショウウオとカエルは？

学習問題：動物は、どのような特徴で分類できるのだろうか。

**―セキツイ動物と無セキツイ動物―**

①教科書 P１２９を読んで、動物の分類についてまとめよう。

**セキツイ動物…**

**→**５つのグループ…（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

（　　　　　　　）（　　　　　　　）

**無セキツイ動物…**

**―セキツイ動物のなかま―**

①教科書 P１３０～Ｐ１３２を読んで、セキツイ動物の分類のしかたについて理解し、　下の言葉をまとめよう。

☆子の残し方

**卵生…**

**胎生…**

☆体温の保ち方

**恒温動物…**

**変温動物…**

②教科書 P１３３の実習１にあるように、Ｐ１３０～Ｐ１３２で学習したセキツイ動物の５つのグループの特徴を表に整理し、写真の生物がどのグループに当てはまるか考えよう。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 魚類 | 両生類 | ハチュウ類 | 鳥類 | ホニュウ類 |
| 子の残し方 |  |  |  |  |  |
| 卵が育つ場所 |  |  |  |  |  |
| 子の育ち方 |  |  |  |  |  |
| 呼吸の仕方 |  |  |  |  |  |
| 体の表面のようす |  |  |  |  |  |
| 体温の保ち方 |  |  |  |  |  |
| あてはまる動物 |  |  |  |  |  |

③はじめに自分で名前を挙げた動物のうち、セキツイ動物について特徴を調べ、教科書　Ｐ１３５の図４０を使って、どのグループに入るか考えてみよう。

**―無セキツイ動物のなかま―**

①教科書 P１３６の実験３のＡ「ザリガニの体のつくりや運動の様子を調べる」を読んで手順や目的を理解し、Ｐ１３８を読んでザリガニについてまとめよう。

☆結果からわかること

☆ザリガニの体のつくりと運動のようす

②教科書 P１３８を読んで**節足動物**についてまとめよう。

**節足動物**の特徴…体が多くの　　　　からできていて、あしにも　　　　　がある。

　　　　　　　　　　体の外側がかたい殻でおおわれている。（　　　　　　　　という）

　**節足動物**のなかま

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生活場所 | 呼吸の仕方 | 成長のしかた | あてはまる動物 |
| **甲殻類** |  |  |  |  |
| **昆虫類** |  |  |  |  |

　その他の節足動物…　　　　類（クモや　　　　　）、　　　　　類、　　　　　類など

③教科書 P１３６の実験３のＡの２と、Ｐ１３９の図４４をみて、節足動物の体のつくりを書いてみよう。

ザリガニの体のつくり

昆虫の体のつくり（トノサマバッタ）

④教科書 P１３６～Ｐ１３７の実験３のＢ「イカの体のつくりを調べる」を読んで手順や目的を理解し、Ｐ１４０を読んでイカについてまとめよう。

☆結果からわかること

☆イカの体のつくり

⑤教科書 P１４０を読んで**軟体動物**についてまとめよう。

**軟体動物**の特徴…体には　　　　　　　と

それを包み込むやわらかい膜（　　　　　　　　）、

　　　　　　　　　　節のないやわらかいあし（　　　　　　で動かしている）がある。

　**節足動物**のなかま

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 体のつくりの特徴 | 生活や呼吸の特徴 |
| シジミやアサリのなかま（二枚貝） |  |  |
| マイマイ　　　（かたつむり） |  |  |
| タニシのなかま（　　　　　） |  |  |
| タコやイカ　　　のなかま |  |  |

⑥教科書 P１３７の実験３のＢの２をみて、軟体動物の体のつくりを書いてみよう。

イカの体のつくり

⑦教科書 P１４１を読んで、節足動物、軟体動物のほかの無セキツイ動物を確認しよう。

　以上で単元２「動物の生活と生物の進化」の学習は終了しました　　　　　　　　　（※第５章「生物の進化」は２０２０年度は、第２学年の学習内容ではなくなりました。）

　ここで、

教科書Ｐ１５６～Ｐ１５７の**「単元末問題」**で、学習の成果を確かめてみましょう。（第５章の学習内容は除く）

はじめは何も見ないで問題に取り組み、次にわからなかった問題に教科書を見ながら　もう一度挑戦し、最後に教科書Ｐ２９６～Ｐ２９７の解答をみて答え合わせをした後、　わからなかった問題をもう一度解きなおしてみるといいでしょう。

教科書Ｐ１５８にある、「読解力問題」にも取り組んでみてください。読解力は今、　　とても重要視されていますので、ぜひ挑戦してみてください。